

固定価格買取制度（FIT）との違い

- 固定価格買取制度が縮小に向かう中、自家消費型への関心・ニーズが高まる。

	自家消費型	固定価格買取制度 (FIT)
電力使用量	・削減可能	・変わらず
電気代	・電気代上昇により メリット大	・買取単価下落により メリット小
環境貢献	・脱炭素に大きく貢献 ・企業価値向上	・省エネにならない
導入コスト	・使用量に合わせ設計 ・補助金活用	・電力会社の連系費用増

電気料金平均単価と売電単価の推移

年	売電単価 (円/kWh)	電気料金平均単価 (産業用) (円/kWh)
2012	40	16
2013	35	18
2014	32	19
2015	28	18
2016	25	16
2017	22	17
2018	18	17
2019	14	18
2020	12	12

※1 出典：経済産業省 資源エネルギー庁
 ※2 グラフの薄い線はイメージであり内容を保証するものではありません。
 ※3 売電単価は、設備容量が50kW以上250kW未満の場合です。